

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

中国電力株式会社 柱上変圧器リサイクルセンター

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡坂町平成ヶ浜四丁目1-103

(3) 業種

3309 その他の管理, 補助的経済活動を行う事業所

2 計画の期間

本計画の期間は, 平成22(2010)年度を基準とし, 平成23(2011)から平成25(2013)年度までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況
 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成22年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
エネルギー 起源CO ₂	9,738	9,445 3%	11,424 ▲17.3%				
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類	512	512 0%	858 ▲67.6%				
温室効果ガス 実排出量総計	10,250	9,957 3%	12,282 ▲19.8%				
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	<p>【エネルギー起源CO₂】 H23年度は、発電量kWh当りの二酸化炭素発生量が増となったため、エネルギー起源のCO₂発生量は増となった。ただし「エネルギー消費原単位(原油換算k1)」は前年度比2.1%減である。</p> <p>【フロン類】 H23年度は、機器故障等により、大気中へのフロン放出量(排出量)が増となったため、CO₂発生量は増となった。</p>						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： $\frac{\text{エネルギー消費原単位} = \text{エネルギー使用量（原油換算kl）}}{\text{柱上変圧器解体重量}}$

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a) 平成22年度	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c) 平成25年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス総排出量							
エネルギー消費原単位（原油換算kl）	0.47	0.46 3.0%	0.46 2.1%				
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c) = $\frac{(b) - (a)}{(a)} \times 100$ 削減量の対基準年度比(e) = $\frac{(a) - (d)}{(a)} \times 100$

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の低減	年平均1%以上低減	<ul style="list-style-type: none"> ・真空炉運転改善による低減 ・所内電力の把握 ・昼休み事務所照明の消灯 ・退社時のPC・PHS電源切
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	なし	
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	事務用紙使用量の削減	前年度実績以下	<ul style="list-style-type: none"> ・電子承認手続きの活用 ・事務用紙使用量の把握 (用紙の裏面利用, 両面印刷, 集約印刷の実施)
2	環境保全活動の推進	1回/年	<ul style="list-style-type: none"> ・地域環境行事等への参加
3	環境教育の実施	1回/年	以下の環境教育を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・一般環境教育(全所員対象) ・転入者教育(転入者対象)
4	環境管理等に関する知識向上	1回/年	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理研修会(環境関連業務従事者対象)を実施

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。